

2015 年 1 月から 2024 年 12 月に

名古屋市立大学病院で亡くなられた方のご家族へ

「最大体重の意義と BMI が死因に与える影響の探索」への

ご協力のお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

体重は、健康や栄養状態を把握する上で重要な指標の一つです。中でも「最大体重」は、過去の身体的負荷や潜在的な健康リスクを推測するための手がかりとして、重要な指標と言われています。また、BMI（体格指数）は算出が容易であり、健康リスクや死亡率との間に深い関係があると言われています。しかし、体重の推移が最終的な死因に及ぼす影響については、先行研究が少なく、実態がよく分かっていません。本研究では、体重・BMI と死因の関連を多角的に分析し、体重変化が死因に与える影響を調べます。

【研究の対象となる方】

2015 年 1 月から 2024 年 12 月に名古屋市立大学病院で亡くなられた患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦 2027 年 3 月 31 日まで

ご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、ご家族の情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点でご家族の情報を研究対象から取り除きます。ただし、すでに個人が特定できない状態に加工されている場合等には、ご家族の情報を取り除くことができません。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。2015 年 1 月から 2024 年 12 月に名古屋市立大学病院で亡くなられた成人患者さんを全てリストアップし、以下の項目について電子カルテより抽出します。

外来受診時もしくは入院中に測定した身長、体重、BMI、性別、死亡時の年齢、亡くなる原因となった疾患名など転帰

このデータを使用して BMI が死因や寿命に与える影響について統計解析を行います。

3 この研究で用いるあなたのご家族の情報の内容について

この研究では、以下の情報を利用します。

外来受診時もしくは入院中に測定した身長、体重、BMI、性別、死亡時の年齢、亡くなる原因となった疾患名など転帰

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

研究責任者：名古屋市立大学病院内分泌・糖尿病内科 梅澤智史

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたのご家族の情報は、氏名等の個人を特定する情報を除き、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータがあなたのご家族のものであると特定されることは一切ありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたのご家族のデータを使用されることを希望されない場合は、ご連絡ください。

なお、研究の進捗状況によっては、あなたのご家族のデータを取り除くことができない場合があります。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学

電話番号： (052) 858-7215

(対応可能な時間帯) 平日 9時から 17時まで

対応者：梅澤 智史